



行幸小だより

瀬戸内市立行幸小学校
令和7年1月7日
第468号

学校教育目標：「豊かな心を持ち，自ら学び，共に高め合うたくましい子どもを育てる」

目指す児童像：**知**「表現する子ども」**徳**「人を大切にする子ども」**体**「やりぬく子ども」

自分発見！ がんばれ わたし

みなさま、明けましておめでとうございます。いよいよ令和7年の幕開けです。そして、今学年最後の学期、3学期が始まりました。

1月7日の始業式で子どもたちに3学期のテーマとして上記の「自分発見！ がんばれ わたし」の話をしました。

「自分発見」とはこの一年で自分が成長したことをたくさん発見してほしいということです。頑張ったこと・認められたことをしっかり見つけて、自分自身をもっと好きになってもらいたいという願いを込めています。そしてさらに自己肯定感が高まってくれることを期待しています。

「がんばれ わたし」はもっと上の高みをめざして自分をみがいていこうということです。3学期は学習も運動も1年の総仕上げをしていきます。今の段階ではまだできないこともあるでしょう。しかし、3月までには、今学年最高の自分を作り上げ、次の学年にステップアップしてほしいと思います。

新しい年の子どもたちの頑張りに期待しています。

給食週間「感謝して命をいただきます」

1月20日から24日まで給食週間です。給食は明治22年、山形県で貧しくてお弁当をもって来られない子どもたちのために食事を提供したことが始まりだといわれています。今では給食献立がとても豪華なものになり、栄養満点の食事を毎日いただけるようになりました。「今日の給食は何が出るかな。」と確認して楽しみに登校してくるお子さんもいることでしょう。

「いただきます。」は食事を始める前に言う言葉ですが、深い感謝の意味が込められています。食べ物を提供してくれた人、食べ物となった生き物や植物、それを育てるために関わった生産者の人、食事が可能になるまで調理してくれた人、それを届けたり配膳してくれた人、全てに感謝をしなければなりません。「いただきます。」は受け取りますという意味ですが、これは単に食べ物を手渡されるというだけでなく、命をや労力を受け取っていることにもなります。

給食週間には学校給食に関わってくださる全ての方に感謝するとともに、食べ物は命でできているということ、そして私たちはその命をいただいていることを改めて考えたいと思います。

(文責：校長 大嶋)